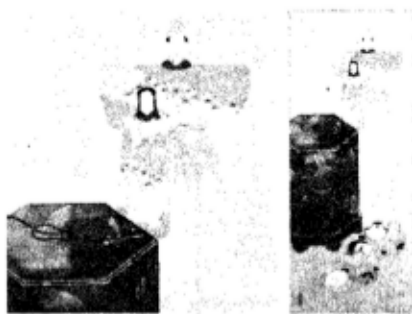
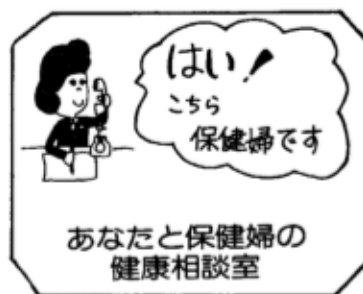




今月のふるさとカレンダー 米山朴庵

朴庵がいつ滝和亭に弟子入りしたかは不明であるが、和亭が下谷村の小池三郎宅へ寄寓したとき弟子入りしたといわれている。容姿は、細面でやせ型であり、性格は潔白な芸術家肌であった。自分の描く作品については非常に厳しく、こんなエピソードが残されている。「依頼されて人物画を描いたところ、ちょうど鼻のところに絹本の瘤があり、どうしても気に入らず、依頼主が承知したにもかかわらず

に栄養を与えている冠状動脈にも炎症がおこり動脈瘤ができることもあり得る。治療には入院が必要である。※小さな子供の場合には、本人からの訴えが言葉で表現されることが少なく、そのためにお母さんが病気の变化をとらえることがむずかしいと思います。そして、発見が遅れることが多いのでふだんと違うところがないか、子供さんの様子をつねに見て下さい。何か異状があったらすぐに病院で診察してもらうことが望ましいと思います。とうとう渡さなかったという絵の賛も「一塵不到」と書き入れており、画界の派閥関係や、師のえこひいきなどが嫌いで、当時の展覧会への出品はついに一度もなかった。卓越した技術を持ちながら、当時の画壇の在り方に反抗し、名声を欲しない立派な芸術家ではなかったのだろうか。朴庵は、小池三郎氏の長女の誕生祝いのため、雛祭りの絵を描いている時に脳溢血で倒れ病床の身となり、絵はついに未完成のままとなった。昭和三年十二月薬石効なく六十四歳の生涯を終えた。



Q 最近、新聞・テレビ等で川崎病についての報道がなされていますが、幼児をかかえる母親としては不安を感じています。どのようなことに注意

したらよいのでしょうか？
A 川崎病は、再び注目をあびています。原因はわかっていませんが、四歳以下の子供に多く発病します。一年中いつでもみられますが、冬と夏に多いようです。
初め、高い熱が続く目が赤くなり、口びるがはれ、首のリンパ節がはれます。からだには鹿のような発疹がで、手や足の甲が真赤になって、パンパンにはれます。熱は五日から二週間以上続くこともあります。熱が下がると頃から手足の皮膚がむけはじめます。ごくわずかですが、心臓に栄養を与えている冠状動脈にも炎症がおこり動脈瘤ができることもあり得る。治療には入院が必要である。※小さな子供の場合には、本人からの訴えが言葉で表現されることが少なく、そのためにお母さんが病気の变化をとらえることがむずかしいと思います。そして、発見が遅れることが多いのでふだんと違うところがないか、子供さんの様子をつねに見て下さい。何か異状があったらすぐに病院で診察してもらうことが望ましいと思います。



春を待つ
かいじナイン
春もちかづき、連日プロ野球のキャンプだよりが報道され、いよいよ野球シーズンの到来といった感じがします。こちらかいじナインは、

かいじクラブを追って

昨年からの課題である、基礎体力と筋力アップを中心にしてきた練習もそろそろ仕上げの段階に入り、毎日、監督・コーチが一人ひとりに声をかけ、こまかい点まで入念に指導をしています。
二人の投手を軸に、攻・守ともにバランスのとれたチームづくりをしてきたかいじクラブ、春からのグラウンドでの練習ぶりが期待されます。
四月から二年生となる、部員も着実に力をつけてきているだけに、その成長ぶりが楽しみです。